

宇都宮市

東京圏活動拠点を開設

新形態オフィス、連携期待

宇都宮市の東京圏における交流・活動拠点となる「宇都宮サテライトオフィス」が1日、東京都港区の「虎ノ門ビルズビジネスタワー」内にオープンした。ベンチャー企業などが入居するオフィス「CIC東京」の一角で、東京圏の人や企業に対して同市の魅力を発信し、事業連携や企業誘致などに取り組む方針。

CIC東京は既存のオフィスと異なり、各所にフリーの会議室やミーティングスペースがあり、気軽に入居者同士などが交流できる。定期的なベンチャーカーとの「架け橋」として期待されているという。



「CIC東京」内のフリースペース。右が黒崎所長＝1日午後、東京都港区

同市のオフィスは二人居屋（7・2平方メートル）で、所長として市産業政策課職員が常駐。ビジネスコーディネーター人と連携しながら異業種交流会の参加などによる個別アプローチの強化や東京圏企業との新たな関係構築、ビジネスマッチングなどを図る。

黒崎泰広所長は「新形態のオフィスなので交流が幅広く行える。国内だけでなく海外にも情報発信できると話した。」

（文・写真 亀井勝）